

放課後等デイサービス事業に関わる自己評価結果公表

公表日 令和6年8月10日

事業所職員および保護者の方々のご意見を踏まえ自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえ、事業所の運営における課題点および改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます □ 柏の葉学園

チェック項目	事業所の現状評価			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	5		
	② 職員の配置数は適切であるか	5		
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5		
	④ 清潔で心地よく過ごせ子どもたちの活動に合わせた空間の確保ができていますか	5		活動内容に合わせ公園や体育館、近隣センターなどの施設を予約し支援提供をしている。
業務 改善	① 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画はされているか	5		業務改善委員会を設置し対応している。
	② 職員の資質の向上を行うために、研修機会の確保や勉強会等を行っているか	5		1回/月の職員会議と研修の実施
適切な 支援の 提供	① アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	5		契約時にお時間を作ってもらいアセスメントを実施
	② 個別支援計画に子どもの支援に必要な項目の設定および具体的な内容を記載しているか	5		
	③ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた個別支援計画が作成されているか	5		
	④ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		職員会議や終礼にて職員全体で支援内容の企画を出し合い精査・実行
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		職員会議や終礼にて職員全体で支援内容の企画を出し合い精査・実行 見直しを行っている。 生活能力の向上、社会との交流の促進、5領域を意識し活動内容を工夫している。
	⑥ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5		必要に応じて指導案等を作成し支援提供している。
	⑦ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		毎日 朝礼・申し送り・終礼を実施
	⑧ 職員間で前日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点や注意事項等を共有しているか	5		毎日 朝礼・申し送り・終礼にて実施
	⑨ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		その日の支援記録はその日のうちに記録し、検査・改善につなげている。
	⑩ 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		基本6か月に1度モニタリングを面談にて実施している。
	⑪ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5		
関係 機関との	① 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した者が参画しているか	5		
	② 学校との情報共有や連絡調整を適切に行っているか	5		必要に応じて学校に電話、訪問など実施 送迎の際積極的に一言運動を実施。
	③ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		

連携	④	放課後児童クラブや児童館等との交流や障害のない子供と活動する機会がある	5		公園や市の施設を積極的に利用し交流の機会を作っている。公園で居合わせた子どもたちと分け隔てなく遊べる環境、雰囲気づくり、安全確保を心掛けている。
	⑤	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加をしているか	5		
保護者との連携・説明責任・保護者支援	①	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い子供の発達の状況や課題について、共通理解を持っているか	5		必要に応じて面談を実施している。定期的に面談を実施。送迎時積極的に一言運動を実施。
	②	保護者の能力向上を図る観点から保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5		定期的に保護者会に絡めて実施
	③	運営規程、支援の内容、利用者負担等の重要事項について丁寧な説明を行っているか	5		契約時に約一時間の時間を頂き説明している。
	④	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	5		
	⑤	保護者会やイベントを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		保護者会、ZOOM参観等実施し、保護者同士の交流を促進している。
	⑥	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		苦情については随時詳細をスタッフ間で情報共有している。
	⑦	定期的に会報(園だより)を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発言しているか	5		1か月に1度発行している。
	⑧	個人情報に十分注意しているか	5		
	⑨	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		
緊急時等の対応	①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定していることを、職員や保護者に周知しているか	5		学園だより等で周知しているが、アンケート結果を見ると不十分なように感じている。壁面掲示やファイリングをして保管している。毎月職員会費で共有している
	②	非常災害の発生に備え、定期的に避難救出その他必要な訓練を行っているか	5		シェイクアウト訓練を毎日実施している。
	③	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保したり勉強会を開催したり等の適切な対応をしているか	5		虐待防止委員会の活動を通じ勉強会を実施。又スタッフのコミュニケーション強化のため職員旅行を実施。
	④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うのかについて組織的に決定し、子供や保護者へ事前に十分な説明を行い、了解を得た上で必要時は個別支援計画に記載しているか	5		
	⑤	食物のアレルギーのある子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		
	⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	柏の葉学園 児童発達支援				公表日	2024年 8月 17日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		活動内容に合わせ公園や体育館、近隣センターなどの施設を予約し支援提供をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		業務改善委員会を設置し対応している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・毎日朝礼・申し送り・終礼にて実施している。 ・1回/月の職員会議と研修の実施している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・1回/月の職員会議と研修の実施している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・契約時にお時間を作ってもらいアセスメントを実施している。 ・基本6か月に1度子ども達との面談を実施している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員会議や終礼にて職員全体で支援内容の企画を出し合い精査・実行・見直しを行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・職員会議や終礼にて職員全体で支援内容の企画を出し合い精査・実行・見直しを行っている。 ・生活能力の向上、社会との交流の促進、S領域を意識し活動内容を工夫している。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5				

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・毎日 朝礼・申し送り・終礼にて実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・毎日 朝礼・申し送り・終礼にて実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		その日の支援記録はその日のうちに記録し、検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		基本6か月に1度モニタリングを面談にて実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5		・公園や市の施設を積極的に利用し交流の機会を作っている。 ・公園で居合わせた子どもたちと分け隔てなく遊べる環境、雰囲気づくり、安全確保を心掛けている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・必要に応じて面談を実施している。 ・定期的に面談を実施している。 ・送迎時積極的に一言運動を実施している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・定期的に保護者会に絡めて実施している。 ・毎月園だよりを発行し、情報を発信している。		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に約一時間の時間を頂き説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者会、ZOOM参観等実施し、保護者同士の交流を促進している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・相談や申入れについては随時詳細をスタッフ間で情報共有している。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・園だよりを1か月に1度発行している。 ・HPやSNS等により発信している。 	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・学園だより等で周知しているが、アンケート結果を見ると不十分のように感じている。 ・壁面掲示やファイリングをして保管している。 ・毎月職員会議で共有している。 	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・シェイクアウト訓練を毎日実施している。 	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会の活動を通じ勉強会を実施。又スタッフのコミュニケーション強化のため職員旅行を実施。 	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			